

第33回 東京秩父別会総会・懇親会の開催 (活動報告)

令和元年5月19日(日)「第33回秩父別会総会・懇親会」が、ふるさと秩父別町よりご臨席賜りました来賓3名様及び他の来賓6名様をお迎えし、会員とともに総勢39名の参加を得て、「アルカディア市ケ谷」にて盛大に開催されました。

恒例のお楽しみ会では童心に帰って抽選結果を待つ楽しい雰囲気の中で行われ、定刻に始まった総会では大西会長の挨拶のあと、議案審議に入り平成30年度の事業報告と収支決算・監査報告並びに令和元年度の事業計画(案)と収支予算(案)等は原案通り承認可決されました。

引き続き、澁谷町長のご挨拶の中で、無投票で町民皆様の信任を得て町政の重責を担っていく決意を表明されました。次いで、代々木公園で開催される北海道産直フェアにおいて、ふるさと特産品の販売を通して町のPRに取り組む東京秩父別会の活動に感謝の気持ちを述べられました。

町政の舵取りに対しましては、急激な変化や大きな変化は少なからず良い結果をもたらさないと考えており、その副作用を軽減するためにも大きな足跡を残された前神薮町長の行政運営を継続していく旨抱負を述べられました。

その中であって、「このまちに住んでよかった、生まれてよかったと思えるまちづくり」をスローガンに掲げて町政を担い、その一環として「子ども子育て応援宣言」に関する取り組みの中で、室内・室外遊技場の子供施設における入場者数が15万人を超える盛況振りを披露されました。

その他ふるさと納税制度の協力金として5,5億円になったことが紹介され、この大切な浄財をまちづくのため有効に活用したいと述べられました。

総会后、記念写真を撮り懇親会に移り寺迫町議会議長の乾杯音頭で祝盃に入り、お互い1年振りの再会を喜び会い笑顔で盃を交わしました。時間の経過に合わせ、マジックに、カラオケそして、スピーチにと全員が大いに沸き立つ中で、其々の昔を偲びつつ時間も押し迫り、最後に東京秩父別会副会長桑原政巳の万歳三唱でお開きとなりました。



秩父別町長澁谷信人様から
ご祝辞を頂戴いたしました



会長大西倫利より開会挨拶



出席者ご一同慶びの記念写真



秩父別町議会議員寺迫公裕様から
祝杯のご挨拶をいただきました



札幌秩父別会会長小西一光様
からご挨拶をいただきました



秩父別町ご来賓の皆様



寺迫議長はふるさと秩父別町の未来
に向けて抱負を述べられました



80歳代の私たちは
まだまだ元気ですよ!!



31回メンバー、何やらひそひそ話
あの日、あの時とても楽しかったわ!!



36回メンバーの私たちは人生
いろいろ、思い出もいろいろ!!



真剣なまなざしで見入る
皆さんに感謝です



秩父別町大使守屋光二さん（プロ歌手）
の歌声に魅了されました



グループ毎に競い合う歌の共演